

韓国のコンピューター通信で用いられる 特殊な語句や表現

佐藤道雄

1 はじめに

筆者が現在住んでいる韓国は、コンピューターが普及している上、時間ごとに使用料金を払えば備え付けのコンピューターが使用できる「PC방 [pʰɨʃibaŋ]」という便利な場所が町中あちこちにあるため、自分のコンピューターがある人は勿論だが、外部と接続された自分専用のコンピューターがない人も含めて、かなりの割合の人たちがコンピューター通信を利用しており、特に10代や20代の若い世代の人たちは他の世代よりも頻繁にコンピューター通信を楽しんでいる。これにともない、コンピューター通信でのみ用いられる新しい語彙や表現が生じている(このことは日本でも同様だと思われる)。またコンピューター通信のみで用いられる、ハングルの特殊な綴りも定着してきている。

筆者自身はハングルを用いて韓国の人とコンピューター通信を行うことはあまりないのだが、勤務先の大学の学生たちが教えてくれた、韓国でのコンピューター通信特有の表現・綴りの一端をここで紹介したい。なお、コンピューター通信はコンピューターの世界以外で既に自分の友人である人を相手に行うことが多いので、地域方言的な表現も多数用いられるとのことだが、ここでは全国的に通用するもののみを対象をしばって紹介することにする。

2 コンピューター通信で用いられる語句や表現

以下は実際にコンピューター通信で用いられる語句や表現である。これらは筆者が勤務先の大学の学生たちに「自分がコンピューター通信で用いたり目にしたりする特殊な表現があったら書いて欲しい」と言って集め、整理して並べ換えたものである。このため語句や表現の選択は各自にまかせたままで基準がなく、また説明の方法にも厳然とした一貫性がないことを御了承いただきたい。

更に以下の語句や表現は、コンピューター通信でしか用いられず、しかもそのままでは発音もできないようなものから、日常的な会話でも用いられるものまでであるが、そのような違いは考慮せずにリストアップしてある。

また、ここに挙げた表現は、全て「コンピューター通信のために用いても構わないもの」であり、「コンピューター通信のために用いなければならないもの」ではないことに注意したい。コンピューター通信には特殊な表現が用いられているとは言え、この点でモース符号を用いた通信などとは大きく異なる。

1) 컴퓨터-通信に関する表現

表現	元になっている表現	日本語での意味
정모 (定-) tʃɔŋ mo	정기적인 모임 tʃɔŋ ki tʃɔk in mo im [tʃɔŋɡiʧɔgin moim]	定期的な集まり
정팅 (定ting) tʃɔŋ tʰiŋ	정기적인 채팅 tʃɔŋ ki tʃɔk in tʰe tʰiŋ [tʃɔŋɡiʧɔgin tʰetʰiŋ]	定期的なチャット
즐팅 tʃwɔl tʰiŋ	즐거운 채팅 tʃwɔl ko un tʰe tʰiŋ [tʃwɔlgoun tʰetʰiŋ]	楽しいチャット
몰팅 mol tʰiŋ	몰래하는 채팅 mol re ha nwn tʰe tʰiŋ [mollesianwn tʰetʰiŋ]	隠れてするチャット
취팅 (醉ting) tʃʰwe tʰiŋ		酒を飲んでするチャット
번개 (팅) pɔn ke (tʰiŋ)		(通信して今度は)実際に会うこと (번개 [pɔŋge] は「稲妻」の意)
잠수 tʃam su		チャットから2人だけ消えて、 一時的に対話すること
비방 pi paŋ	비밀대화방 pi mil te hwa paŋ [pimildehwabaŋ]	秘密対話ルーム
비게 pi ke	비공개 게시판 pi koŋ ke ke ji pʰan [pigonge keʃipʰan]	非公開掲示板
11		しばらくコンピューターから離れる (人が立っている形)
22		また席にもどった (人が座っている形)

2) 日常的な表現とは異なったものがコンピュータ-通信で用いられる例

나이가 몇개? 「何才?」(lit. 歳が何個?)
na i ka myɔŋʰ ke

몇학년 몇반? (몇學年 몇班?) 「何才?」(lit. 何年何組?)
myɔŋʰ hak nyon myɔŋʰ pan

一般的には「何才?」は 몇살 [myɔ'sal] だが、表現を変えてこのように書くこともある。
「何年何組」式の質問には、例えば 3학년 7반 [samhagnyon tʰilban] 「3年7組 (=37才)」のように答えられる。

당근(이쵸) 「当然(でしょ)」(lit. 人參)
taŋ kwn (i tʃyo)

말밥(이쵸) 「当然(でしょ)」(lit. 馬の飯)
mal pap (i tʃyo)

토끼밥(이쵸) 「当然(でしょ)」(lit. 兎の飯)
tʰo 'ki pap (i tʃyo)

당근말밥(이쵸) 「当然(でしょ)」(lit. 人參馬の飯)
taŋ kwn mal pap (i tʃyo)

一般的な会話では「当然(でしょ)」は 당연(하죠) [taŋnyon(hiaɕo)] と言うが, 당근(이쥬) [taŋgʷun(igɕo)] 「人参(でしょ)」は, 単にこれと発音が似ているため使用されるとのこと。(日本語の「冗談はヨシコさん」などと同様の発想だと思われる。)馬の食事は人参なので, 만밥 [malbap] 「馬の飯」も同じように用いられる。「兎の飯」も同様。

오토소개 (auto紹介) o tʰo so ke	自己紹介
오로소개 (一紹介) o ro so ke	自己紹介

「自己紹介」は一般的には 자기소개 [ʃʌgisogɛ] と言うが, 오토소개 [otʰosogɛ] は, 英語の auto- を用いたもの。오로소개 [orosogɛ] は, これと音が似ているので。

노딩 no tiŋ		年寄り
노땅/노똥 no 'taŋ / no 'tiŋ		(最)年長者
직딩 ʃik tiŋ	직장인 (職場人) ʃik ʃʌŋ in [ʃikʰʃʌŋin]	仕事をしている人
대딩 te tiŋ	대학생 (大學生) te hak seŋ [tehakʰseŋ]	大学生
고딩 ko tiŋ	고등학생 (高等學生) ko tʷŋ hak seŋ [kodʷŋhakʰseŋ]	高校生
고삐리 ko 'pi ri	고등학생 (高等學生) ko tʷŋ hak seŋ [kodʷŋhakʰseŋ]	高校生 (俗語)
중딩 ʃuŋ tiŋ	중학생 (中學生) ʃuŋ hak seŋ [ʃuŋhakʰseŋ]	中学生
초딩 ʃʰo tiŋ	초등학생 (初等學生) ʃʰo tʷŋ hak seŋ [ʃʰodʷŋhakʰseŋ]	小学生

それぞれ元の意味の語の最初の文字に 딩 tiŋ (人を表わす接尾辞?)などを続けるとできる。「年寄り」を表す 노딩 [nodɪŋ] / 노땅 [no'taŋ] / 노똥 [no'tiŋ] は, 明らかに 노인 (老人) [noin] (あまりいいニュアンスの語ではない)からできている。

님 nim	あなた (通信している相手に対して) (님[nim] は一般的には接尾辞の「様」)
----------	--

3) 日常的な表現がコンピューター通信では綴りが変わったり短縮されたりして用いられる例 (가나다라 順)。

この項での (愛敬) は自分(のことば)を可愛らしく見せようとするときの表現, また (強調) は, 語気を強めたり, 敢えて乱暴に見せようとするときに用いる表現のことである。

表 現	元になっている表現	日本語での意味
가지말거 ka ʃi mal ko	가지말고 ka ʃi mal ko [kaʃimalgo]	行かないで、(勧誘・依頼)
간만이다 kan man i ta	오래간만이다 o re kan man i ta [oreganmanida]	久しぶりだ
강퇴 kaŋ tʰwe	강제퇴장 kaŋ tʃe tʰwe tʃaŋ [kaŋtʃe tʰwetʃaŋ]	強制退場
강 / 기냥 kyaŋ ki nyaŋ	그냥 kw nyaŋ [kwnyaŋ]	ただ単に (강 は全羅道方言か?) kyaŋ
겜 / 껌 kem 'kem	게임 ke im [keim]	ゲーム
그러넹 kw ro neŋ	그렇네 kw roh ne [kwronne]	そうだね (愛敬)
글썽/그썽/그쳐 kwɪ ʃʰyo/kw ʃʰyo/kw ʃʰyo	그렇지요 kw roh ʃi yo [kwroʃʰiyo]	そうですね (愛敬)
글썽요 kwɪ kʰun yo	그렇군요 kw roh kun yo [kwrokʰunyo]	そうですね (感嘆)
깍/깍다/깍당 'kap'kap ta/'kap taŋ	아깍다 a 'kap ta [a'kap'ta]	惜しい
넬 nel	내일 ne il [neil]	明日
너래 no re	노래 no re [nore]	歌
넘 nom	너무 no mu [nomu]	とても(～すぎる)
넘 웃기다 nom us ki da	너무 웃기다 no mu us ki ta [nomu ut'kida]	ものすごく笑える
넵 nep	네 ne [ne]	はいっ! (愛敬?)
담에 tam e	다음에 ta wm e [taume]	次に
담주에 tam ʃu e	다음주에 ta wm ʃu e [taumʃue]	来週(に)
뎌벼 tem pyo	덤벼 tom pyo [tombyo]	かかってこい
듀금 tyu kwm	죽음 ʃuk wm [ʃugwm]	死ぬ(ほど大変な)こと (愛敬)
드더 tu tyo	드디어 tu ti o [tudio]	ついに
드러 50쇼 tu ro oʃip ʃyo	들어오십시오 tuɪ o o ʃip ʃi o [tuɪoʃip'ʃio]	入って来てください
따랑 'ta raŋ	사랑 sa raŋ [saraŋ]	愛

때때 'te me	때문에 'te mun e ['temune]	~だから
마니 ma ni	많이 manh i [manhi]	たくさん
맘에들어 mam e twi ɔ	마음에 들어 ma um e twi ɔ [maume twɔɔ]	気に入った
새론 se ron	새로운 se ro un [seroun]	新しい (名詞を修飾)
쌤 / 쌤님 sem sen nim	선생님 son seŋ nim [sonseŋnim]	先生 (尊敬する相手への呼称)
설녀 sol nyo	서울 여자 so ul yo ŋa [soul yoŋa]	ソウルの女
설대 sol te	서울대 so ul te [sɔwilde]	ソウル大(学校)
설살아요 sol sal a yo	서울 살아요 so ul sal a yo [soul sarayo]	ソウル(に)住んでます
섬 ŋyɔm	시험 ŋi hɔm [ŋifɔm]	試験
... 습다 ...swm ta	... 습니다 ...swp ni ta [swmnida]	...ます (子音で終わる体言に続く語尾)
시러 ŋi ro	싫어 ŋilh ɔ [ŋiro]	いや (拒絶)
시퍼 ŋi pʰɔ	싶어 ŋipʰ ɔ [ŋipʰɔ]	~たい (願望)
아니예욘/아니예엌 a ni ye yom / a ni ye yom	아니예요 a ni ye yo [aniyeyo]	いいえ
아닙다 a nim ta	아닙니다 a nip ni ta [animnida]	(...では)ありません
아떠여/아떠요 a 'to yo / a 'to yo	알았어요 al a's ɔ yo [ara'soyo]	わかりました (愛敬)
아쨌! a 'ŋwi	알았지! al a's ŋi [arat'ŋi]	わかった(って言ってる)だろ! (強調)
아쨌? a 'ŋi	알았지? al a's ŋi [ara'ŋi]	わかった? (愛敬)
앤 en	애인 e in [ein]	恋人
야남 ya nam	야한 남자 ya han nam ŋa [yahan namŋa]	エッチな男
어케 ɔ kʰe	어떻게 ɔ 'toh ke [ɔ'tokʰe]	どうやって (疑問・感嘆)
어케할거야 ɔ kʰe hal ko ya	어떻게 할거야 ɔ 'toh ke hal ko ya [ɔ'tokʰe hal'koya]	どうするだろう(か) (愛敬)

어떡게 o'tok ke	어똑해 o'tok he [o'tok ^h ɛ]	どうやって (疑問、感嘆)
어똑해/오똑해 o'tok he / o'tok he	어똑해 o'tok he [o'tok ^h ɛ]	どうやって (疑問、感嘆) (愛敬)
어빠 o'pa	오빠 o'pa [o'pa]	お兄さん (女性が用いる) (愛敬)
언나 / 온나 on nya / on nya	언니야 on ni [onni]	お姉さん (女性が用いる呼びかけ) (愛敬)
언능 on nung	얼른 ol run [olrun]	急いで (愛敬) (全羅道方言?)
...여 ...yo	...요 ...yo [yo]	...です (丁寧の語尾)
열씨미 yol 'ji mi	열심히 yol jim hi [yoljimfi]	熱心に、一生懸命 (強調)
열찌미 yol 'tji mi	열심히 yol jim hi [yoljimfi]	熱心に、一生懸命 (愛敬)
...예용~ ...ye yong (-)	...이예요. ...i e yo [ieyo/yeyo]	...です。 (愛敬)
오늘 o nol	오늘 o nul [onul]	今日 (愛敬)
...요일 ...yol nal	...요일날 ...yo il nal [...yoilla]	...曜日 (愛敬)
울 ul	우리 u ri [uri]	私たち
울아빠 ul a 'pa	우리 아빠 u ri a 'pa [uri a'pa]	うちの父さん
울언니 ul on ni	우리 언니 u ri on ni [uri onni]	うちの姉さん
울엄마 ul om ma	우리 엄마 u ri om ma [uri omma]	うちの母さん
읍따 wp 'ta	없다 ops ta [op'ta]	ない (愛敬)
읍써 wp 'so	없어 ops o [op'so]	ないの? / ないよ
이럴뚜가 i rol 'tu ka	이럴수가 i rol su ka [irolsuga]	(驚き) (愛敬)
이쁜 i 'pin	이쁘 i 'pwn [i'pwn]	きれいな (愛敬)
자가 tja kya	자기야 tja ki ya [tjagiya]	あなた (恋人に)
잼업 tjem op	재미 없다 tje mi ops ta [tjem i op'ta]	面白くない。
잼있다 tjem i's ta	재미있다 tje mi i's ta [tjem i t'ta]	面白い。

저아 ʃɔ a	좋아 ʃoh a [ʃo(f)a]	いい(よ)
젤루 ʃel ru	제일로 ʃe il ro [ʃeillo]	一番に
주금 ʃu kwm	죽음 ʃuk wm [ʃugwm]	死ぬ(ほど大変な)こと
짐 ʃim	지금 ʃi kwm [ʃigwm]	今
짜식 'ʃa ʃik	따식 'ta ʃik ['tasik]	このやろう (親しみをこめて)
쩌비 쩌비 'ʃɔ pi 'ʃɔ pi	쩍쩍 'ʃɔp 'ʃɔp ['ʃɔp'ʃɔp]	やれやれ
차칸 ʃʰa kʰan	착한 ʃʰak han [ʃʰakʰan]	善良な、いい (名詞を修飾) (強調)
침 ʃʰɔm	처음 ʃʰɔ wm [ʃʰɔwm]	初め
컴 kʰɔm	컴퓨터 kʰɔm pʰyu tʰɔ [kʰɔmpʰyutʰɔ]	コンピューター
클났다 kʰwl na's ta	큰일 났다 kʰwn il na's ta [kʰwnil nat'ta]	大変だ(lit. 大きなことが起きた)
토울 tʰo yol	토요일 tʰo yo il	土曜日
토 tʰyo	튀어 tʰwi ɔ	ずらかれ/失せろ
... 하세염 ...ha se yɔm	... 하세요 ...ha se yo [haseyo]	...なさいます(か) (愛敬)
... 하자나! ...ha ʃa na	... 하잖아! ...ha ʃanh a [hacʰanʃa]	...するじゃないか! (強調)
... 합다 ...ham ta	... 합니다 ...hap ni ta [hamnida]	...します (丁寧な表現)
... 해용 ...he yɔŋ	... 해요 ...he yo [heyo]	...します(か) (愛敬)
... 해떠여 ...he 'tɔ yo	... 했어요 ...he's ɔ yo [he'sɔyo]	...しました(か) (愛敬)
... 했써 ...he's 'sɔ	... 했어 ...he's ɔ [he'sɔ]	...した(のか?) (強調)

4)挨拶

表 現	一般的な表現	日本語での意味
안나세요/안나세여	안녕하세요	こんにちは
an nya se yo/an nya se yo	an nyɔŋ ha se yo [annyɔŋhaseyo]	

안녕하요 an nyoŋ has yo	안녕하세요 an nyoŋ ha se yo [annyoŋ haseyo]	こんにちは
안녕 an nyoŋ	안녕 an nyoŋ [annyoŋ]	こんにちは (愛敬)
하2 ha i	안녕 an nyoŋ [annyoŋ]	ハイ(こんにちは)
리하이 / 리하2 ri ha i	또 안녕 'to an nyoŋ ['to annyoŋ]	もいちど(re-)ハイ(こんにちは)
방가 paŋ ka	반가워요 pan ka wo yo [pangawoyo]	(お会いできて)嬉しいです
방가 교육 paŋ ka 'ko ok	반가워 교육 pan ka wo 'ko ok	うれしい ギューツ(と抱きしめる)
거림안냐! ko rɔm an nya	그림 안녕! kw rɔm an nyoŋ [kwɔrɔm annyoŋ]	じゃあバイバイ! (愛敬)
20000 iman	이만 i man [iman]	これで(バイバイ)
어십쇼 o sop ſo	어서 오십시오 o so o ſip ſi o [oso oſip'ſio]	ようこそ
어쇼요 o swa yo	어서 오세요 o so o se yo [osooseyo]	ようこそ (愛敬)
ㄱㅅ k s	감사 kam sa [kamsa]	感謝/ありがとう
깜사 'kam sa	감사 kam sa [kamsa]	感謝/ありがとう
만 myan	미안 mi an [mian]	ごめん
만해 myan he	미안해 mi an he [mianhe]	ごめん
지송 ſi sog	죄송 ſwe sog [ſwesog]	ごめん

5) 擬音語・擬態語

냐하하 nya ha ha	にゃはは (女性の笑い)
음 휘 휘 휘 um hwe hwe hwe	うひひひ (変態的な笑い)
ㅋㅋㅋ (크크크) kʰ kʰ kʰ kʰw kʰw kʰw	ククク (笑い)
커커커 kʰa kʰa kʰa	(笑い)
케케케 kʰe kʰe kʰe	けけけ (何か企んでいるときの笑い)
켈켈켈 kʰel kʰel kʰel	(何か企んでいるときの笑い)

ㅎㅎㅎ (하하하)
h h h ha ha ha

ハハハ (笑い)

허허허
ho ho ho

(自慢するなど、他人に見せる笑い)

떨렁 (셀렁)
'tɔl rɔŋ 'sɔl rɔŋ ['sɔllɔŋ]

しーん (つまらない/誰もいない)

응
oŋ

うーん (考えるときや疲れたとき。
응 ɔŋ のバリエーション)

음나음나
wɔm nya wɔm nya

(眠いときや眠っているとき)

쩍
'tʃɔp

チュッ (舌打ち)

2929 (에구에구)
i ku i ku e ku e ku [eguegu]

おいおい (泣き声・驚き)

555...(오오오...)
o o o ... o o o ...

おー (驚き)

3 考察 (綴りの省略に関して)

上に挙げた例には正書法とは異なった色々な表現形式が見られるが、ここでは特に綴りの省略に関して少し考察して、この報告を終えたい。コンピューター通信では正書法に対して綴りを省略した語句が多数用いられるが、これによって語句が短くなるものと、語句の発音自体は正書法によるものと変わらない、つまりスペリングだけが違って発音が変わらないものが見られる。

語が短くなる例 :

- 간만이다 [kanmanida] < 오래간만이다 [oreganmanida] 「久しぶりだ」
- 강퇴 [kaŋtʰwe] < 강제퇴장(強制退場) [kaŋdʒetʰweɕaŋ] 「強制退場」
- 넘 [nɔm] < 너무 [nɔmu] 「とても(～すぎる)」
- 담에 [tame] < 다음에 [taume] 「次に」
- 울엄마 [urɔmma] < 우리엄마 [urɔmma] 「うちの母さん」
- 잼업 [tʃemɔp] < 재미없다 [tʃemioptʰa] 「面白くない」
- 컴 [kʰɔm] < 컴퓨터 [kʰɔmpʰyutʰɔ] 「コンピューター」

発音される(され得る)語は短くならないで、綴りだけが省略される例 :

- 시퍼 ji pʰɔ [ʃipʰɔ] < 싶어 ʃipʰɔ [ʃipʰɔ] 「～たい(願望)」
- 시러 ʃi rɔ [ʃirɔ] < 싫어 ʃilʰɔ [ʃirɔ] 「いや(拒絶)」
- 주금 tʃu kum [tʃugum] < 죽음 tʃuk um [tʃugum]
- 차칸 tʃʰa kʰan [tʃʰakʰan] < 착한 tʃʰak han [tʃʰakʰan] 「善良な、いい」

綴りが省略されるのは、できるだけ発音に影響を及ぼさずにコンピューターのキーを打つ回数を減らすためだそうだが、この際、動詞・形容詞の語幹に続いて語基や名詞を作る

母音が直前にある語幹の最後の子音と組み合わせさせて「1文字」になりうるという点が正書法とは異なっている。

시퍼 *ʃi pʰɔ* [*ʃipʰɔ*] 「～たい」(形態論的には {싶 *ʃipʰ*}(～たい) + {어 *ɔ*}(語幹形成)。正書法では 싶어 *ʃipʰ ɔ* [*ʃipʰɔ*])

죽음 *ʃu kwɪm* [*ʃuɡwɪm*] 「死ぬこと」(形態論的には {죽 *ʃuk*}(死ぬ) + {음 *wɪm*}(こと)。正書法では 죽음 *ʃuk wɪm* [*ʃuɡwɪm*])

これに対して、母音で始まる要素が直前の名詞の最後の子音と組み合わせさせて「1文字」になる例は、少なくとも筆者が調べた語句の中では見られない。

다음에 *tam e* [*tame*] 「次に」(形態論的には {담 *tam*}(次) + {에 *e*}(に)。キーを打つ回数を減らすためとって *다메 *ta me* [*tame*] にはならない。)

재밌지 않다 *ʃɛm ɔp* [*ʃɛmɔp*] 「面白くない」(ここではされ得る発音を書いたが、実際にはこの表現はコンピューター通信でしか用いられない。形態論的には {재 *ʃɛm*}(面白さ) + {않 *ɔp*}(ない)。キーを打つ回数を減らすためとって *재덜 *ʃɛ mɔp* [*ʃɛmɔp*] にはならない。)

우리 엄마 *ul ɔm ma* [*urɔmma*] 「うちの母さん」(形態論的には {우리 *ul*}(我々) + {엄마 *ɔmma*}(母さん)。キーを打つ回数を減らすためとって *우덜마 *u ɔm ma* [*urɔmma*] にはならない。)

つまりおおまかに言えば、動詞・形容詞の語幹と後続する要素の場合には「キーを打つ回数を減らすこと」が形態素の分析よりも優先するが、名詞と後続する要素の場合には形態素の分析の方が「キーを打つ回数を減らすこと」よりも優先するようだ。

最後に、この報告を書くに当たって色々な方の協力を得た。特に貴重な時間を割いて多くのことを教えてくれた韓国光州市・朝鮮大学(朝鮮大學校)の鄭根河(*ʃɔŋ kʌnɦa*)くん、全志英(*ʃɔn ʃiɔŋ*)さん、金維羅(*kim yuna*)さん、安恩正(*an wɪŋɔŋ*)さんには謝意を表したい。

この報告でのハングルの転写

本報告でのハングルの転写は次のとおりである。(同じ単音文字でも環境によって2通りに書き分けているものもある。)

ㄱ	k	ㅅ	's / 'ʃ	ㅏ	a	ㅘ	we
ㅋ	'k	ㅇ	(無転写) / ŋ	ㅑ	ε	ㅙ	wi
ㄴ	n	ㅈ	tʃ	ㅓ	ya	ㅚ	yo
ㄷ	t	ㅊ	'tʃ	ㅕ	ye	ㅜ	u
ㅌ	't	ㅌ	tʰ	ㅛ	o	ㅟ	we
ㄹ	r / l	ㅋ	kʰ	ㅜ	e	ㅢ	wi
ㅁ	m	ㅍ	tʰ	ㅠ	yo	ㅠ	yu
ㅂ	p	ㅍ	pʰ	ㅡ	ye	ㅡ	w
ㅃ	'p	ㅎ	h	ㅜ	o	ㅣ	wi
ㅅ	s / ʃ			ㅜ	wa	ㅣ	i

また、実際の発音を表す[]内の表記は、基本的には I(nternational) P(honetic) A(lphabet) に従ったが、例外として本報告の [y] は IPAの [j] または [j̥] に対応する。表記全体に関して、菅野裕臣『朝鮮語の入門』(白水社1981年、10刷1995年)を参照した。